

西成区教育行政連絡会 議事要旨

1 日時

令和6年5月10日(木) 午前10時00分~午前11時00分

2 場所

西成区役所 4階 4-8会議室

3 出席者

(1) 区役所

西成区長兼区シティマネージャー及び教育委員会事務局区担当教育次長、西成区副区長兼教育委員会事務局西成区教育担当理事、西成区役所保健福祉担当部長、西成区役所市民協働課長、西成区役所窓口サービス課長、西成区役所子育て支援担当課長兼教育委員会事務局西成区教育担当課長

(2) 中学校

天下茶屋中学校長、今宮中学校長、成南中学校長、玉出中学校長、鶴見橋中学校長、梅南中学校長

(3) 小学校

天下茶屋小学校長、岸里小学校長、玉出小学校長、千本小学校長、橘小学校長、まつば小学校、長橋小学校長、北津守小学校長、南津守小学校長、新今宮小学校長、(今宮中学校長兼務)

4 議事要旨

○ 令和6年度 西成区教育関連事業について

【説明要旨】

資料2、3、4に基づき第三期西成特区構想について、学力向上に向けた区施策イメージ、不登校の実質ゼロに向けた取り組みについて説明

・令和5年度から第三期西成特区構想が開始されている。若年層を中心に既に増加している転入者をさらに増加させ、子育て世帯の転出を抑制させることで、人口減少に歯止めをかけることをめざしている。

・第三期特区構想における教育分野の取組みとして、大阪市平均への到達をめざして、区全体の学力向上に取り組み、「子育て・教育するなら西成区」と評価されるよう、一層の取組の充実を図っていく。学力向上をめざし、これまで重点的に取組を行い、一定の成果

を上げている学力や登校状況に課題を抱える層のフォローアップに加えて、早い段階から「学習姿勢を向上し学力で課題を抱えない」ようにする予防的な取組の実施、成績上位層のさらなる成績向上につながるメニューを提供するなど、課題を抱える層だけではなく、幅広い層のニーズに応える教育施策にも取り組み、「大阪市平均の学力」、「不登校の実質ゼロ」の実現に向けて事業を実施していく。

- ・学力向上に向けた区施策イメージに示しているとおり、様々な学力層や小学校から中学校までの学年に応じて学習支援を実施していく。

- ・不登校の実質ゼロに向けた取組に示しているとおり、不登校の度合や状況に応じたつながり先を確保し、全員が何らかの支援に繋がっている「不登校の実質ゼロ」をめざす。

資料5、6に基づき、令和6年度西成区教育関連事業の実施について説明

《西成区こども生活・まなびサポート事業》

- ・取組内容について、「登校支援」は、電話・家庭訪問などにより児童生徒の登校を促す。「訪問支援」は、学校にほとんど通うことができず、家から出られない児童生徒等に対し、児童生徒の自宅を訪問し、学習支援、相談対応など、不登校による不利益が生じないような支援を行う。区登校支援・見守り支援員の対象校は区内16小中学校。

- ・「居場所支援」は、学校に通うことが出来るが、教室に入ることが難しい児童生徒が登校できる校内適応指導教室（スペシャルサポートルーム）において、学びの場に定着できるように見守りを行う。区居場所支援員の対象校は区内2中学校（玉出中、今宮中）。

- ・「学習姿勢向上に向けた支援」は、小1プロブレムなどが原因で、学習姿勢が身に着いていない小学校低学年の児童に対し、学習に向かえるように支援する。区学習姿勢向上支援員の対象校は区内10小学校。また、区低学年サポーター（有償ボランティア）については、各校年間1,050時間を配置することが可能。

《外国につながる児童生徒の学習言語定着支援事業》

- ・外国から来た児童生徒の中で、日本語指導が必要な子どもの教育センター校通級などにより、日常会話はできるようになっているが学習言語が定着していない児童生徒を対象として、母国の学校では学習していない内容や、生活言語を習得するまでに授業を受けたため十分に理解できていない内容などの補充学習を行い、教科学習を通して日本語指導を行う。

- ・実施場所は、鶴見橋中学校（6月27日（木）開始予定）、岸里小学校（6月28日（金）開始予定）となっており、5月16日（木）には小中学校の実務担当者向け事業説明会を開催予定としている。

《学力分析に基づく演習を活用した苦手分野克服事業》

・中学校の学力診断検査や高校入試の本番を想定した模擬テストを通じて、生徒の苦手分野を把握し、生徒にフィードバックすることで自身の課題を認識させるとともに、苦手分野の反復演習をすることで、個人の学力向上を図り、ひいては学校全体の学力の底上げを図る。中学生を対象とし、5教科を実施。

・5月31日～6月6日の間で中学3年生が模擬テストを受験する予定。夏休み前に復習問題に取り組める日程となっている。

・令和6年12月には、中学1・2年生が模擬テストを受験する予定。復習問題に取り組めるのは令和7年2月の予定。

《発展型学習支援事業》

・家庭の経済状況の如何に関わらず本人が志望する水準の高等学校への進学ができるように、成績中上位層を中心とした学習意欲のある児童生徒に対して、発展的な内容の学習機会を提供することによって更なる学力向上を図る。

・小学校5・6年生については、基礎学力向上支援事業に参加している児童がつながりで受講する児童が多いと想定しており定員を140名と多くしている。中学生については、定員が40名となっている。

・4月19日～26日までが受講者申込期間となっており、5月9日から順次授業が開始される予定である。ただし、小中ともに申込者数が定員を下回る状況となっており、一部会場校で児童生徒が通いやすいはずであるにもかかわらず、申し込みが極端に少ない学校がある。申込者数が少ない学校については、個別に連絡をするため児童生徒への声かけなどご協力をお願いしたい。

《西成区基礎学力アップ事業（西成まなび塾）》

・区内の小学校5・6年生及び中学生に対し、小中学校校舎等の公共施設を活用した塾等事業者による課外授業（補習）を実施する。

・令和6年度下半期からの習い事・塾代助成カードの所得制限撤廃に伴い、参加しやすくなることも考えられるため、各学校で対象者への声掛けをお願いしたい。

《基礎学力向上支援事業（西成ジャガピースクール）》

・区内小学3・4年生に対し、夏休みや冬休み、平日の放課後を利用し、小学校で塾等の事業者による課外授業を実施する。

・令和5年度から、前期後期制とし、後期に習熟度別授業を行っている。

・令和6年度は、各学校のご協力をいただき、ジャガピースクール体験会を授業や放課後の時間帯を活用して、小学校3年生全員に対して実施予定。

《プレーパーク事業》

- ・魅力ある子育て環境を創出することで西成区に対する偏見やマイナスイメージを払拭し、西成特区構想でめざす子育て世代の誘引・定着への動機付けの一端を担う場となるべく子どもの生きる力を育む居場所であるプレーパークを実施する。
- ・令和6年度からプレイス型と体験型の2つの形態に分けて実施する。
- ・プレイス型については、もと津守小学校のグラウンドに不良個所があったことから、もと松之宮小学校やもと今宮小学校、区内公園などで開催する。
- ・体験型については、体験活動により子どもの好奇心を刺激し物事への興味や関心を広げ、ひいては学習意欲も引き出すことを考えており、令和6年度は、区内小学校や西成区役所での開催も考えている。学校での開催にあたっては、実施内容について事前に協議をさせていただき予定としている。

《西成区こどもの読書活動推進支援事業》

- ・読書活動を行うきっかけづくりとして、年間の読了冊数に応じて賞状を贈呈する。読書の質も大事であるという意見があったことから、ふりかえりシートを導入し、読書の質も高めていく。
- ・年間目標読了冊数を設定しているが、中学生は、本1冊あたりの量も増えると考えられることから、25冊に目標を変更している。
- ・区長表彰については、令和5年度は千本小学校、玉出小学校、成南中学校、天下茶屋中学校に訪問し、表彰を行った。今年度も引き続き実施する予定。

《キャリア教育推進支援事業》

- ・大阪市と協定を締結しているプロスポーツチームからゲストティーチャーを招き、交流や講義を通して、ゲストティーチャーがどのような進路を選択し、どのような方法でその職業に就いたのかを学ぶなど、児童生徒が具体的な進路や将来の職業について考える機会を提供する。2年間をかけて全中学校で実施。
- ・4月から実施に向けた調整をしており、6月から3月にかけて実施する予定。

《大阪フィルハーモニー交響楽団出前授業事業》

- ・区内小中学校の児童・生徒にプロの演奏を鑑賞してもらい、子どもたちの心に深く芸術文化に触れた記憶を残し、地域への愛着や誇りをはぐくみ、魅力ある地域へと変革させる人材育成につなげるとともに、将来の目標を見出し、いける人材育成をはかることを目的として実施している。2年間をかけて全小中学校で実施。
- ・別途、9月7日（土）に小学校4年生から6年生を対象に、保護者同伴で大阪フィルハーモニー交響楽団の演奏会を企画している。実施内容が確定次第、学校に周知する予定。

《西成しごと博物館》

- ・西成区や近隣のこどもたちに、地元の企業の仕事内容を理解してもらうことで、働くことの大切さや面白さを感じてもらい、地元を誇りと愛着を持っていただくことを目的として区内の企業に出展していただき、仕事見学・体験を行う。
- ・毎年十数社の企業による職業体験を行っており、好評な事業となっており、令和6年度は中学生にも拡大する予定。

《帰国・来日等のこどものコミュニケーションサポート事業》

- ・帰国・来日等の児童生徒で、学校生活において日本の生活習慣等に支援が必要な児童生徒に対し寄り添い支援を行うサポーターを配置している。サポーターは有償ボランティアとしている。
- ・日本に帰国・来日して間もない生活言語が未習得の児童生徒が主な対象者となっており、外国につながる児童生徒の学習言語定着支援事業とすみ分けをしている。
- ・令和6年度は、帰国・来日の児童生徒が増えていることから、予算額を大幅に増額しており、交通費（1回の活動あたり1,500円を上限）も支給することとなった。

《小・中学校サポーター登録事業》

- ・帰国・来日等のこどものコミュニケーションサポーターや、こども生活・まなびサポート事業の区低学年サポーターも含め、各学校で活動していただけるサポーターを区役所で募集・登録し、各学校へ紹介する。大学等にも働きかけて各学校に紹介していきたい。

【主な意見・質問】

《小・中学校サポーター登録事業》

- ・区役所から学校へボランティアの紹介をする際に、先着順で学校とマッチングすることとなっているが、先着順の方法を変更していただきたい。

先着順の場合、学校としては優秀な人材が欲しいため、ボランティアの希望する活動との多少のずれがあったとしても、すぐに手を挙げた学校になってしまうことになる。例えば、3日間の申込期間を設けるなどして、マッチングのずれをなくすようにしていただきたい。

【主な意見・質問に対する回答】

《小・中学校サポーター登録事業》

- ・区役所としては、ボランティアの人数を増やすことと、マッチングのずれがなくなるように、学校へ紹介する方法を改善していく。

○ 令和6年度 実施事業に関する区役所からの連絡事項

【説明要旨】

資料7～10に基づき説明。

≪学校協議会新任委員説明会≫

- ・6月に3回開催する予定。新任委員への案内配付を依頼。

≪学校選択制の学校案内作成≫

- ・学校案内の原稿作成依頼。5月10日が締切。

≪教科書展示会の開催≫

- ・6月14日（金）から約1ヶ月間、西成区役所5階52番窓口待合スペースで展示。

≪教育行政連絡会の開催日程≫

- ・本日を含めて、7月中旬、12月中旬、令和7年2月下旬の年4回の予定。

【主な意見・質問】

なし